

図書館ミニ展示「2011.3.11 東日本大震災から9年」

東日本大震災（2011年3月11日）より9年が経ちます。震災以降も、地震や水害が続き、さらには新型ウィルスの被害など、様々な自然の脅威が多くの被害をもたらしています。展示では、記憶を風化させぬように9年前の「あのとき、何が起きたのか」、そして非常事態に直面した「そのとき、何ができるのか」を考えられるような資料を集めてみました。東日本大震災については、当時の新聞も紹介しています。展示を機会にいま一度、何が起きたのか／できるのか、について考えてみましょう。

なお図書館では、地震に対する利用者の安全確保のため、全学防災訓練に参加し緊急時に対応できるよう努めています。臨時休館などの緊急情報は、Twitter (@lib_josai) でお知らせします。

2020/2/19

請求記号	書名	著者名	出版年	出版社
369.3//Ka95	防災福祉コミュニティ形成のために：公助をベースとした自助・互助・共助	川村 匡由	大学教育出版	2018.12
369.3//N37	防災コミュニティ：現場から考える安全・安心な地域づくり	中村 八郎	自治体研究社	2010.4
369.3//P68	災害ボランティア入門	ピースボート災害ボランティアセンター	合同出版	2019.7
369.3//Ta73	地域防災とまちづくり：みんなをその気にさせる災害図上訓練	瀧本 浩一	イマジン出版	2016.11
369.3//U94	防災に役立つ地域の調べ方講座	牛山 素行	古今書院	2012.11
369.3//Y45	自然災害ハンドブック：災害時のパニックを避け、大切な命を守るために！	山と溪谷社	山と溪谷社	2011.5
369.31//C45	震災のときあったらいいもの手帖：体験したから伝えられる知恵103	チーム住まいと暮らし	住まいの学校	2016.5
369.31//I78	3・11と私：東日本大震災で考えたこと	石牟礼 道子	藤原書店	2012.8
369.31//I91	できることをしよう。：ぼくらが震災後に考えたこと	糸井 重里	新潮社	2011.12
369.31//J55	自由報道協会が追った3.11	自由報道協会	扶桑社	2011.10
369.31//Ka52	3・11慟哭の記録：71人が体感した大津波・原発・巨大地震	金菱 清	新曜社	2012.2
369.31//Mi73	東日本大震災教職員が語る子ども・いのち・未来：あの日、学校はどう判断し、行動したか	宮城県教職員組合	明石書店	2012.10
369.31//N31	あなたの都市に地震が来たらどうしますか？：いざというときのための備えと工夫の「都市防災」。：45分でわかる！	中林 一樹	マガジンハウス	2011.10
369.31//Y81	東日本大震災：読売新聞報道写真集	読売新聞社	読売新聞東京本社	2011.5
369.36//Ta74	3・11後を生きるきみたちへ：福島からのメッセージ	たくき よしみつ	岩波書店	2012.4
491.7//Su46	微生物学：細菌・真菌・ウイルスと感染症	杉田 隆	じほう	2014.7
491.72//Mo45	みんなの消毒薬	森 健	南山堂	2013.3
491.77//Ka96	猛威をふるう「ウイルス・感染症」にどう立ち向かうのか	河岡 義裕	ミネルヴァ書房	2018.2

「369・31」の棚にまわっています

369.31